

# 主の恵みはとこしえまで

2021年11月7日

詩篇 103篇 神の恵みを感謝する歌 by ダビデ

序：なぜ103篇か？

詩篇群の高い峰、秀逸、心に迫り刻まれる名篇  
聖餐式 (ダビデの悔い改めと神の赦し)  
山津つる子姉妹召天 (11/3)

## I. 神から受けた個人的な恩恵を思い起こす

(1) 賛美せよ (自分に命じる)

わが魂よ	主をほめたたえよ
わが内のすべての器官	主のよくしてくださった事を忘れない
全身全霊で	多くの恩

(2) 主の御業

すべての咎を赦す (罪とその現れである咎)  
すべての病をいやす  
いのちを墓穴 (滅び) から救う  
恵みとあわれみによって破格の優遇  
一生を良いもので満ち足らせる  
新しい力、若さが更新される

## II. 神の民への恵みと祝福

(1) 義とさばきを行う (しいたげられているすべての人のために)

(2) 主の道をモーセ (指導者) に 知らされた  
主のみわざを民に

(3) ご性質

憐れみ深く、情け深く、恵み豊か  
争い好きでない  
怒るのに遅い  
人の罪・咎・背きをゆるす

～のように～

① 天と地 (その高低) の差がとてつもなく大きい = 御恵みは広大

② 東と西 (その距離) が果てしなく隔絶 = 完全にそむきの罪を遠ざける

③ 父が子を憐れむ = 主はご自分を畏れる者を憐れまれる

神は父、私たちは神の子

敵対し、背反していた者に全きゆるしを与えられたのは、憐れみ・恵み

私たちには何の功績もない

キリストによって罪の代価が支払われ、ゆるされた

本来、そのような恩恵を受けるはずがない者であったのに

### III. 私たち人間の实態

(1)土から形成された者、ちりにすぎない  
神はそれを蔑まず、いとおしまれる（弱く、脆く、はかない）

(2)一生は束の間、むなしい  
熱風で枯れる野の草・花のよう  
栄華は一瞬で消え失せる、存在の痕跡さえ残らない

(3)神の恵みは永遠  
神の義は 主を恐れる者  
          主の契約を守る者  
          主の戒めを心にとめ、行う者 に

(4)世々、子孫から子孫へと引き継がれる

(5)主はご自分の王国・王座を確立・統治 ⇒ 御国の住民、天の国籍

### IV. 爆発する賛美・頌栄

- (1)自分自身（1～2節）
- (2)主の御使い = 力ある勇士たち
- (3)主のすべての軍勢 = みこころを行い主に仕える者たち
- (4)すべての被造物（造られたもの）たち
- (5)わがたましいよ

神に造られ、生かされているすべてのものを総動員 清く、力強い賛美炸裂

### V. 結び

人の一生は草のよう、その栄えは野の花のようにはかない  
熱風は一吹きすれば、一瞬にして枯れ、跡型も無く消え去ってしまう

しかし、神はちがう 神の恵みはとこしえから永遠まで  
神の愛は病気の子どもに対する母の愛のよう  
何とかして治してやりたい 自分のいのちと引き換えても 不変の愛  
10節 私たちの罪・咎ゆえに冷淡に取り扱わない  
          （罪は罰しなければならない、イエス・キリストの代償）

12節 東と西が遠く完全に離れているように、私たちと背きの罪を分離する

13節 父が子を憐れむように、神は私たちが憐れむ 父なる神の子とされる  
          「アバ、父よ」と呼ぶ御子の御霊を受けた ガラテヤ 4・6

私たちの神への愛は弱く、途絶えることがある 神の愛は永遠～～  
神の愛による勝利

イエス・キリストの福音、救いの力が迫ってくる